森林経営管理制度の地域調整会議に出席しました

令和２年７月 13 日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、森林経営管理制度運用２年目であることから、更なる民国連携、新たな民有林支援に取り組むことが重要と考えています。

特に、これまで以上に国有林に対するニーズの把握に努め、それらニーズの実現や、森林経営管理制度運用における地域の課題解決に向けて、民国連携した取組が重要だと考えています。

今後民有林においては、経営管理権集積計画の策定や市町による森林経営管理事業などが進められていくこととなることから、広島北部森林管理署では、それらの民有林に近接・隣接する国有林に関する様々なデータの提供や森林施業計画の調整などについて積極的に図りながら、スムーズに森林経営管理制度が運用していくよう、新たな民国連携、民有林支援に取り組んでいきたいと考えています。

このようなことから、７月９日当署管内の三次市の「令和２年度森林経営管理地域調整会議」にオブザーバーとして出席しました。

三次市の森林経営管理地域調整会議で挨拶する署長

三次市森林経営管理地域調整会議の様子

三次市の地域調整会議では、令和元年度に実施した意向調査結果を踏まえ、年内を目途に経営管理権集積計画策定を進めていくこと、今年度の意向調査地区選定や森林環境

譲与税の使途などについて、活発な意見が交わされました。

広島北部森林管理署では、更に管内全ての市町地域調整会議に参画していき、国有林に対するニーズの把握と、それらを解決していくための民国連携の取組を通じて、地域の森林・林業の再生、林業の成長産業化に貢献していくこととしています。